

丹波篠山・福の住む里 福住さとねっと

Fukusumi Sato Net



令和5年12月21日

第168号

発行：福住地区まちづくり協議会

〒669-2513 丹波篠山市福住 342

TEL&FAX：079-557-0116

メール：fk.machikyo@gmail.com

地域おこし協力隊員

いな
稲ちゃん活動報告！



11月は、まさに行楽の秋到来！といった様相で、末席ながら、東部六地区マルシェ、福住祭、深山サミットといった行事に加わらせていただく機会を得ました。

福の里農業小学校も、11月26日に本年度の最終回を迎え、黒豆と小豆の収穫、圃場の柵の撤去に取り組みました。

作業後には、笠井校長より卒業式が執り行われ、一年間の活動を振り返るスライドを鑑賞してから、生徒さん一人一人に修了証が手渡されました。

参加者の皆様からは、「子どもが毎月福住へ来るのを楽しみにしていたので、今月で修了となるのが寂しい」、「うちの子は来年中学校へ上がりますが、その後も福の里農業小学校へ通い続けたいと言っています」、といったお言葉を頂戴しました。

冬季期間中に農業小学校のホームページ（ブログ形式）を設立し、参加者の皆様が活動の思い出を手軽に振り返られる窓口とする予定です。

NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

- 加工賃：1kgあたり420円
- 真空パック：1kgあたり25円
- 申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話（080-9534-4275）まで
- 営業時間：月・水・木曜日の9時～17時

「米粉の日」は、毎月第4木曜日に定期開催！

12月は21日（木）、1月は25日（木）開催予定です。※その他の日でも相談頂ければ対応いたします。

ボランティアスタッフ募集！ ～今年も「雪花火」開催予定～

今年も、昨年につき、若手グループ「ツギテ」企画・運営による恒例の冬のイベント「雪花火」を2月に開催予定です。

自治会長会をはじめ、まち協構成の各団体、消防団等にご協力いただき実施しています。

少しでもたくさんの方にご協力いただきたいと思いますので、積極的にご参加ください。参加希望の方は、上記まち協メールアドレスまで。※イベントの詳細等は次号でお知らせします。



一本杉販売所だより



朝はすごく冷えましたが、日中は季節外れのポカポカ陽気になる様です。

今日の販売所は、いよいよ令和5年産の黒豆が登場しました！これから入荷もどんどん増えてくると思います。そのほか、ブロッコリー・里芋・山の芋・ジャガイモ・白菜・チンゲン菜・大根・かぶら・新米コシヒカリなどです！

農家レストラン福住からは、温かくて美味しい福住定食・お弁当などを準備してお待ちしています。

福住では、収穫の終わった田畑で、来年度に向かいトラクターで耕すところが多く見られます。

来年度も、福住の美味しい農作物が育ってくれることでしょう！

みなさんからの「福住さとねっと」への投稿・情報提供お待ちしております！

=福住さとねっと編集部=

3年ぶりの福住祭 開催！

11月19日(土)、篠山東雲高等学校を会場に福住地区まちづくり協議会との共催で、3年ぶりに「福住祭」が開催されました！

東雲高校による研究発表(堀の外来生物駆除による動物相の変化・丹波篠山市の水辺への生き物・給食で伝える丹波篠山の味)や、芸能発表、教科展示、農産物や農産加工品の販売、地域による芸能発表や作品展示、グラ



ウンドゴルフ大会など、『東雲校と地域実行委員との実行委員会を重ねて、やっと漕ぎ着けた感の福住祭!』でした！

「しっかりと楽しめました！」

=東部6地区協議会・マルシェ活動報告=

去る、11月12日(日)、細工所ハートピアにおいて、東部6地区マルシェを開催いたしました。

当日は、少し肌寒い中でしたが、約800名の来場者があり、地元のマルシェを楽しんでいただき、コロナ禍がまだ収まらない中、久しぶりの活気を感じた1日でした。

当日は、市内外から約40店舗の飲食、工芸品、野菜販売、チアダンス、ワクワク体験&ワークショップが集結。まさしく、「くだおれ」を楽しんでいただきました。

また、関西学院大学の久保ゼミからは久保先生と学生数名が参加者から聞き取りアンケート調査を企画していただき、ほとんどの方からは、今回の企画が初めての割には、満足されている様子が伺えました。出店者さんからも、「すごく楽しかった」「次回も是非、呼んでほしい」「第1回目とは思えない企画がしっかりしたマルシェで素晴らしい」「集客力、宣伝がすごい」「駐車場などの配慮が心配なく当日を迎えられた」等等、うれしい感想でした。

今回のマルシェの目的は東の玄関口、ハートピアの活性化であり、今後、空きレストランの活用や閉館予定のAコープ(募集中)をどうしていくのか?を東部のみなさんと考えていくきっかけにしたいと思います。

これまでに一部の皆さんからは、「東部味土里館」「ミニ道の駅」「情報発信基地」等、夢のある構想や意見をお聞きしています。

今後も、東部6地区で活用していく場合は、引き続き皆様からの意見やアイデアをお聞きしながら東部6地区の活性化のために模索していきます。

最後に、このマルシェのためにご協力をいただきました地元の駐車場提供者、野菜販売グループ、グリーンファーム、JA様はじめ、市役所関係課の皆様にご挨拶に代えさせていただきます。



第6回深山(みやま)サミット

=福住地区まちづくり協議会=



第6回深山(みやま)サミットが、11月25日(土)南丹市西本梅あかまつの丘(旧西本梅小学校)において開催されました。

この深山サミットは、3府県境の深山(みやま)を囲んでいる福住地区、能勢町天王地区、南丹市西本梅地区が毎年交流している取り組みです。

福住地区からは、西野々自治会長(前 福住地区まちづくり協議会事務局長)の畑 善継氏から「福住地区古民家の『保存と活用』について」と題して報告をしていただきました。

天王地区と西本梅地区からの報告の後、NPO 法人亀岡人と自然のネットワークの仲田丞治氏から「深山山系とオオサンショウウオについて」の特別報告があり、福住地区の安口(はだかす)の地名は、オオサンショウウオの別名「あんこう」が由来ではないかという説があることも報告されました。

各行政関係者の参加を含む50名近い参加者により有意義な交流ができた取り組みでした。

福の里農業小学校

=11月26日=

この夏の猛暑を乗り越えた!? 収穫の秋を! 満喫! 黒大豆や大納言小豆を摘んで! 山の芋を掘り起こし!

汗一杯かいて! 福住コミュニティセンターへ、4月のタネまきや苗植えから収穫までの写真で振り返り、修了式!

小学生のみなさん、田んぼや畑、周辺で野遊びもしながらの

農作業体験ごくろうさま! 保護者のみなさま、お疲れさま!

農作業の指導者の皆さまも、ご苦労様でした。

